



2014年3月期 業績説明会
業績総括 及び 事業方針

2014年5月9日 住友林業株式会社

代表取締役社長 市川晃

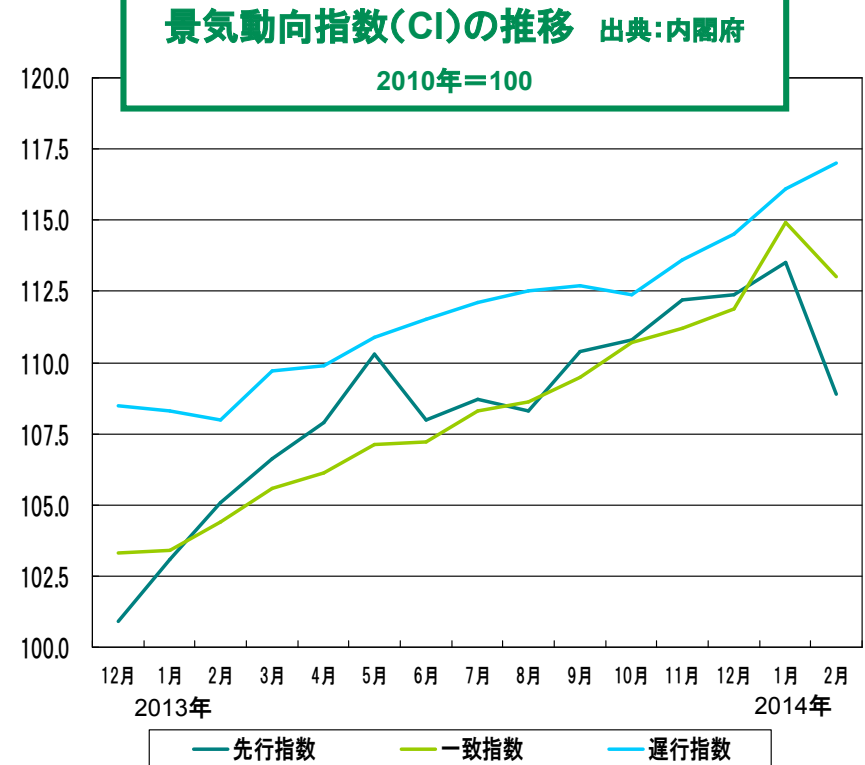
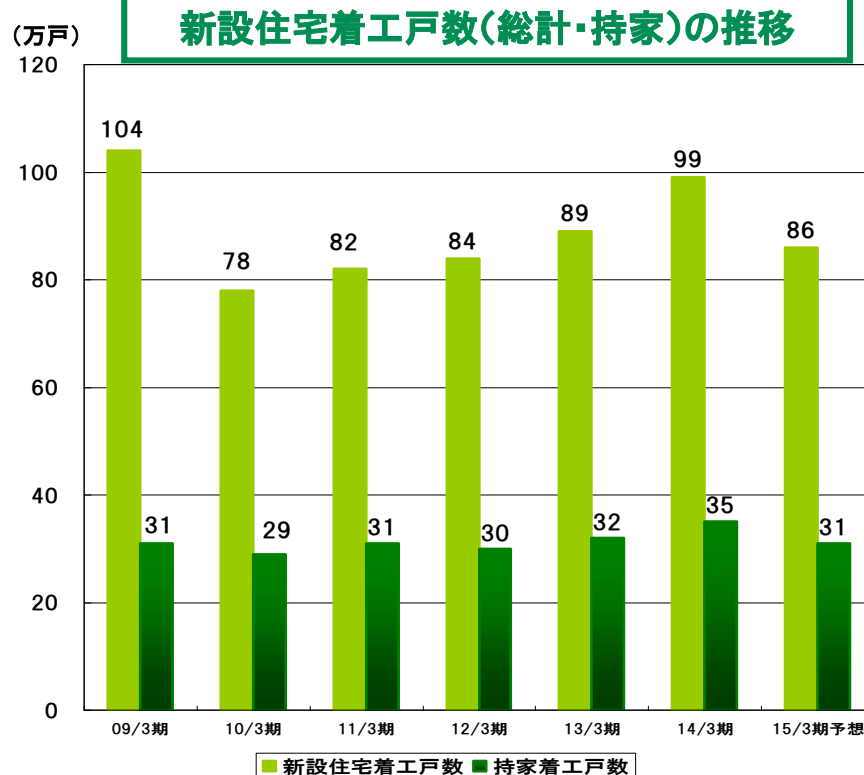
目次

1.足元の事業環境認識	2ページ
2.14/3期実績及び15/3期予想について	3ページ
3.中期目標について	4ページ
4.主力事業について（木材建材事業、戸建注文住宅事業）	5ページ
5.成長事業について① 海外事業（資源・製造事業）	6ページ
6.成長事業について② 海外事業（住宅・不動産事業）	7ページ
7.成長事業について③ ストック住宅事業 他	8ページ
8.株主還元について	9ページ
9.ブランドコミュニケーション戦略について	10ページ

足元の事業環境認識

国内住宅市場は消費税増税の反動減影響で不透明。

- 国内経済は、消費税増税の影響が懸念されるものの、企業収益の回復、個人消費の底堅さ等を背景に堅調に推移。
- 海外経済は、米国は緩やかな上昇基調、欧州は英国を中心に回復局面に入りつつある一方、中国やアジアの新興国はやや鈍化傾向。
- 国内住宅市場は、消費税増税に伴う反動減の影響もあり、15/3期新設住宅着工戸数総計は86万戸、持家は31万戸程度を予想。



14/3期実績及び15/3期予想について

14/3期実績 旺盛な国内住宅需要を背景に、増収増益。

15/3期予想 成長事業が伸び、売上高は増加、経常利益は前期に引き続き300億円台をキープ。

- ・14/3期は堅調であった市場環境に、消費税増税に伴う駆け込み需要が加わった上、収益力強化の効果もあり、木材建材事業と住宅事業が全体業績を牽引。
- ・15/3期は消費税増税に伴う反動減に対処する一方で、成長事業の伸びを加速させ、来期以降に向けて収益体制を整える。

2014年3月期実績及び2015年3月期計画

(単位:億円)

(連結)	13/3期	14/3期	前期比	15/3期 予想	前期比
売上高	8,452	9,730	+15.1%	9,900	+1.8%
営業利益	253	334	+31.9%	310	△7.2%
経常利益	270	336	+24.4%	320	△4.7%
当期純利益	159	225	+41.5%	180	△20.1%

(単位:億円)

退職給付に係る数理差異	4	△10	—	—	—
-------------	---	-----	---	---	---

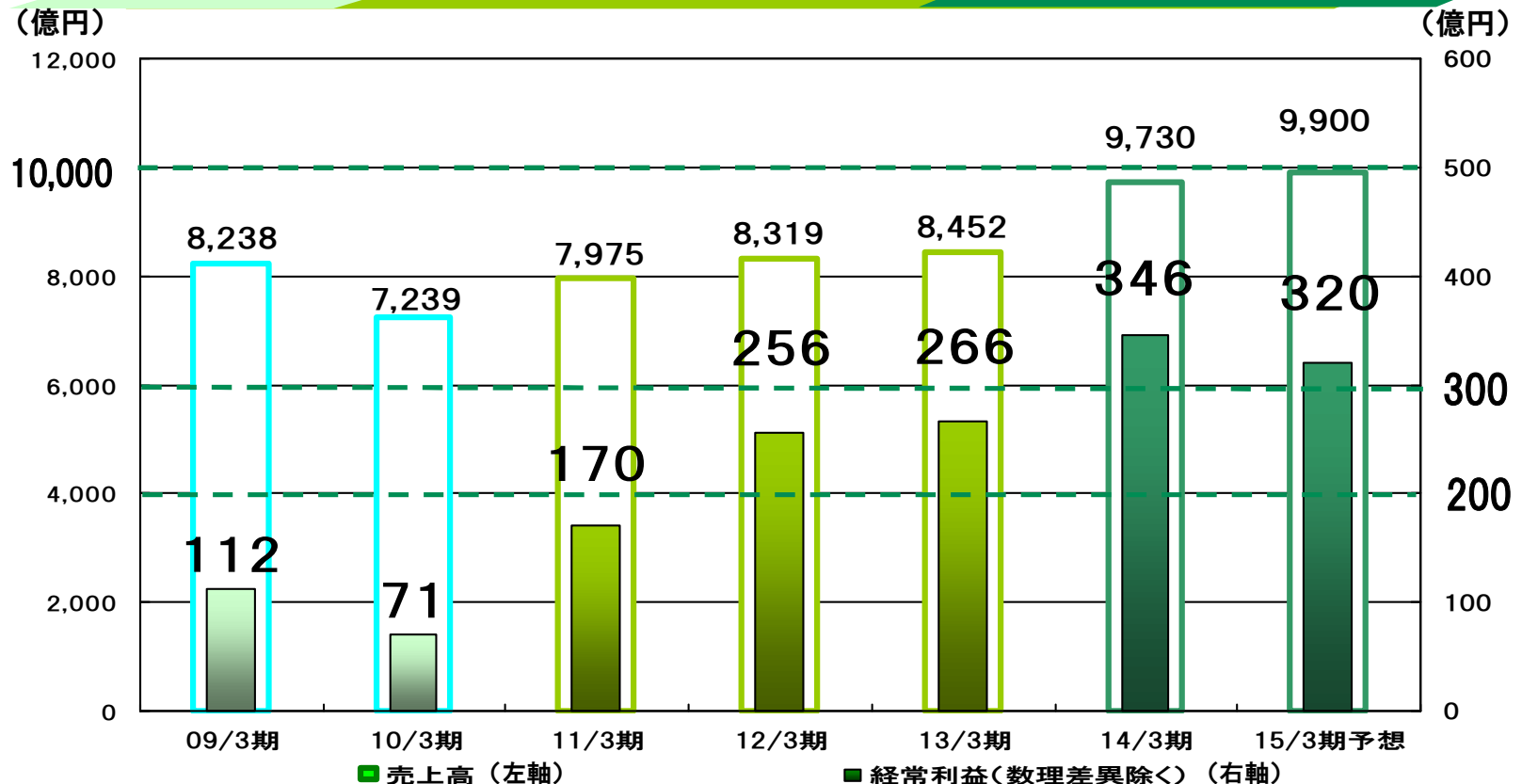
中期目標について

売上高1兆円、経常利益300億円を 安定的にクリアできる事業体制の確立へ。

- 2011年3月期～2013年3月期は「収益力の強化」を最優先課題と位置づけ、安定的に経常利益200億円を稼げる事業体制を構築。
- 2014年3月期からは3年を目途に「売上高1兆円、経常利益300億円体制」の構築に着手。

経常利益200億円体制の確立

売上高1兆円、300億円体制の確立



主力事業について(木材建材事業、戸建注文住宅事業)

主力事業は、強化してきた収益体制をベースに市場変化に対応していく。

- 木材建材事業は、国内NO.1の木材建材商社として、グローバルなネットワークと、蓄積してきたノウハウを活用し、新たな市場を開拓。
- 戸建注文住宅事業は「木」の良さを前面に押し出し、当社の「技術力」の優位性を最大限にアピール。
- アパート事業も継続的に経営資源を投入していく。



【国産材】



【環境配慮機器】



【プロト展示場】



【ハグくみの庭】

10/3期

11/3期

12/3期

13/3期

14/3期

15/3期予想

経常利益200億円体制の確立
売上高1兆円、300億円体制の確立

	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期予想
新設住宅着工戸数(千戸)	775	819	841	893	987	860
木材建材事業の売上高(億円)	3,454	3,941	4,053	4,013	4,586	4,200
戸建注文住宅の販売棟数(棟)	8,580	8,721	9,007	8,999	9,243	9,000

成長事業について① 海外事業(資源・製造事業)

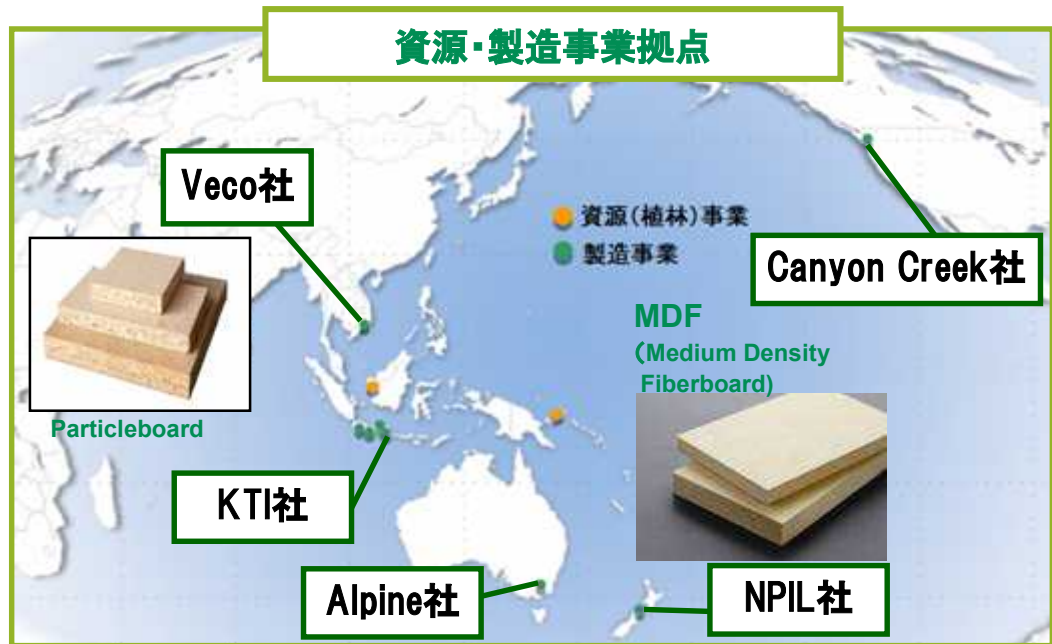
海外事業全体は当社グループの収益ポートフォリオの一端を担う事業に育ってきた。

製造事業は生産能力を上げ、経済成長と共に増大すると予想される新興国等の需要を取り込んでいく。

- ・資源・製造事業は、長い年月をかけて地域に根ざし拡大してきた。
- ・生産能力を上げ、成長する新興国市場の需要を取り込んでいく。



【インドネシア合板製造工場(KTI)】



10/3期

11/3期

12/3期

13/3期

14/3期

15/3期予想

経常利益200億円体制の確立

売上高1兆円、300億円体制の確立

海外事業全体の売上高(億円)	217	317	350	387	763	1,280
海外事業全体の経常利益(億円)	△27	△19	△29	△18	△1	25

成長事業について② 海外事業(住宅・不動産事業)

海外住宅事業の販売棟数は順調に増加。

- 新たにテキサス州の住宅会社(Gehan社)の持分51%取得により、米国での販売棟数は年間2,000棟レベルの規模に。
- 豪州(Henley社)も市場回復を背景に販売棟数増加の見込み。
- 今後も地域情勢に応じた戦略を実行し、継続的に事業拡大を進めていく。



【豪州モデルハウス】



【米国シアトル近郊モデルハウス】



【米国テキサス州モデルプラン】

10/3期

11/3期

12/3期

13/3期

14/3期

15/3期予想

経常利益200億円体制の確立

売上高1兆円、300億円体制の確立

	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期予想
海外住宅の販売棟数(棟)	584	1,756	1,772	2,049	2,270	3,600
内 米国(棟)	58	58	83	229	516	1,700
内 豪州(棟)	526	1,698	1,689	1,820	1,754	1,900

成長事業について③ スtock住宅事業 他

「木」の可能性を引き出し、その付加価値を高めていくことで、住宅関連市場に対応し、新たな国内需要を掘り起こす。

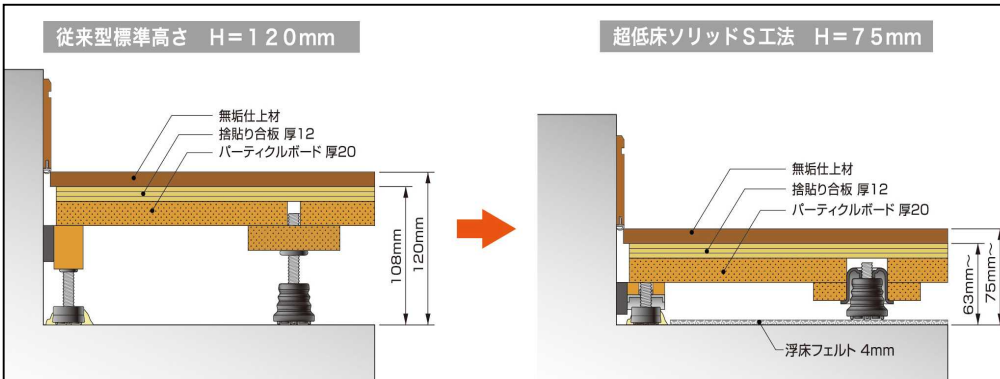
- 拡大するストック住宅市場において、高い技術力を背景にリフォーム事業は順調に拡大。
- マンションのリノベーション事業が軌道に乗りつつある。
- 木化事業、バイオマス発電事業等、新たな国内需要に積極的に対応。



forestia



【マンションリノベーション
フォレストシア芦屋浜町】



【リフォームにおける従来型と超低床ソリッドS工法の違い】



【旧家リフォーム】

10/3期

11/3期

12/3期

13/3期

14/3期

15/3期予想

経常利益200億円体制の確立

売上高1兆円、300億円体制の確立

リフォーム事業(住友林業ホームテック)の 売上高(億円)	375	418	479	530	622	669
リフォーム事業(住友林業ホームテック)の 経常利益(億円)	16	21	26	27	41	44

株主還元について

配当については、収益水準や内部留保の状況、
今後の事業展開などを総合的、長期的に勘案し、
継続的かつ安定的に行なうことを基本方針としております。

- ・株主の皆様への利益還元を、経営の最重要課題の一つとして位置付け、13/3期及び14/3期の増配を実施
- ・配当方針はこれまでどおり、安定配当方針を継続。

2013年3月期 配当実績

中間配当	7.5円/株	
期末配当	9.5円/株	
		<u>年間配当 17円/株</u>

2014年3月期 配当予定

中間配当	9.5円/株	
期末配当	9.5円/株	
		<u>年間配当 19円/株</u>

2015年3月期 配当予想

中間配当	9.5円/株	
期末配当	9.5円/株	
		<u>年間配当 19円/株</u>

ブランドコミュニケーション戦略について

グループの成長戦略推進に合わせて、 新たなブランドメッセージの発信を開始。

- 当社グループが総合力を発揮し、成長を加速するために、新たなグループ共通のブランドメッセージを作成し、ブランドコミュニケーション戦略の中核に位置づけて戦略的に露出していく。
- 「木と生きる幸福。」というブランドスローガンのもと、新たなブランディング活動を展開していく。

木と生きる幸福。

A photograph of a man in a forest, looking upwards. The scene is filled with tall, dark tree trunks and a soft, dappled light filtering through the canopy. The man is wearing a light-colored t-shirt and a dark, patterned jacket. The overall mood is serene and contemplative.

木と生きる幸福

住友林業グループ

ご清聴ありがとうございました。